

## 見学会・講習会「昇降機における耐震技術と振動対策の最前線を知る」報告

平成21年9月17日（木）13時～17時まで日本大学理工学部5号館において昇降機に関する耐震技術と振動対策の最前線を紹介する見学会・講習会を開催しました。昇降機は、高度な機械技術と振動低減技術、および耐震対策が施された代表的な機械構造物の一つです。また、今回見学した昇降機は、設置状況が国内でも特異な中間層免震構造物に対応した昇降機です。参加者は、27名で結果として当日の昇降機内部の走行路見学と管制運転の体験をゆっくり実施することができました。

まず、日本大学理工学部建築学科の秦一平先生より見学対象となる昇降機を設置している中間層免震構造を採用した5号館建物について詳細にご説明いただき（写真1）、次に、三菱電機ビルテクノサービスの小沼裕一様より中間層免震対応型昇降機について、免震層での昇降機の走行路対策技術や耐震技術について実験動画を交えながらご説明いただきました。その後、免震層に移動し昇降機内部の走行路を見学いただいたうえで（写真2）、実際に昇降機に乗っていただき地震・火災・停電などの各種管制運転を7～8名毎に体験いただきました。このような管制運転を体験していただくことで緊急時の行動にとって大変有益であったと思われます。見学後、建物外観から免震要素を説明いただきながら講演室にもどり、東京農工大学大学院工学府機械システム工学専攻の鎌田崇義先生から昇降機に関する様々な振動問題やその最前線の対策について講演いただきました（写真4）。

最後に、建物に1機しかない昇降機を見学のために停止させていただくなど多大なご協力をいただきました日本大学理工学部建築学科の先生方と学生の皆さん、および管制運転の実施にご協力をいただきました三菱電機ビルテクノサービスの皆様に紙面を借りて心より御礼申し上げます。



写真1 秦先生の講演



写真2 小沼様による現地説明



写真3 講演会場



写真4 免震要素見学



写真5 鎌田先生の講演

（文責：事業企画委員会 古屋 治 都立産業技術高専）